

平成 22 年 6 月 全国生コンクリート出荷実績

1. 概 況

(1) 当月の出荷実績は、次のとおりであった。

組合員出荷数量	6,139 千 m ³	[前年同月比 94.6%]	[構成比 88.6%]
非組合員出荷数量	789 千 m ³	[前年同月比 110.2%]	[構成比 11.4%]
総出荷数量	6,929 千 m ³	[前年同月比 96.2%]	
（官公需）	3,024 千 m ³	[前年同月比 95.3%]	[構成比 43.6%]
（民需）	3,904 千 m ³	[前年同月比 96.9%]	[構成比 56.4%]

(2) 当月は、前年同月比では、総出荷が平成 19 年 3 月以来 40 ヶ月連続のマイナス、官公需が平成 19 年 2 月以来 41 ヶ月連続のマイナス、民需が平成 19 年 5 月以来 38 ヶ月連続のマイナスとなった。なお、標準稼働日数(平日)は、前年同月と同じだった。

当年度 4~6 月累計の前年同期比では、総出荷が 5 年連続のマイナス、官公需が 5 年連続のマイナス、民需が 3 年連続のマイナスとなった。地区別では、わずかにプラスとなった地区が 1 つあり、その他の 9 地区がマイナス、うち 10%超のマイナスは 2 地区あった。

今後 2~3 ヶ月先の都道府県別需要動向については、前年実績より増加するが 2 (前月比+1)、前年実績並みが 4 (前月比+1)、前年実績より減少するが 41 (前月比-2) と予想している。

2. 都道府県別の状況

(1) 都道府県別の状況については、前年実績を上回ったところが 18 府県、下回ったところが 29 都道府県であった。

(2) 前年実績を 10%以上上回ったところは 6 府県であった。その状況は次のとおりである。

【山梨】67 千³m [前年同月比 147.7% (官公需 132.1%、民需 171.6%)] リニアモーターカー、中部横断道、イオン建設等の関連工事があった。

【鳥取】45 千³m [前年同月比 132.4% (官公需 136.2%、民需 123.6%)] 砂防堰堤、鳥取西道路、しち山バイパス、国道 313 号橋梁下部、東伯中山道路、県立米子工業高校、ニトリ米子店、JA 会館等の関連工事があった。

【京都】88 千³m [前年同月比 128.5% (官公需 125.9%、民需 131.2%)] 高速道路等の関連工事があった。

【奈良】47 千³m [前年同月比 122.5% (官公需 133.5%、民需 101.2%)] 前年同月の落ち込みに対する反動と思われる。

【山形】69 千³m [前年同月比 119.3% (官公需 131.1%、民需 109.0%)] 小学校、薬品工場等の関連工事があった。

【富山】131 千³m [前年同月比 114.4% (官公需 63.4%、民需 173.5%)] 北陸新幹線等の関連工事があった。

(3) 前年実績を 10%以上下回ったところは 10 道府県であった。その状況は次のとおりである。

【北海道】272 千³m [前年同月比 88.2% (官公需 98.7%、民需 76.9%)] 特に目立った物件はなかった。

【宮崎】68 千³m [前年同月比 88.0% (官公需 85.5%、民需 93.0%)] 特に目立った物件はなかった。

【大阪兵庫】687 千³m [前年同月比 87.7% (官公需 80.0%、民需 91.4%)] 河川、道路、尼崎新高校、尼崎西高校、大和川ポンプ場、学校、南千里丘計画、有料老人ホーム、工場等の関連工事のほか、特に目立った物件はなかった。

【群馬】96 千³m [前年同月比 84.7% (官公需 79.2%、民需 92.0%)] 特に目立った物件はなかった。

【愛知】351 千³m [前年同月比 84.5% (官公需 86.5%、民需 83.6%)] 特に目立った物件はなかった。

【高知】55 千³m [前年同月比 81.9% (官公需 96.7%、民需 67.9%)] 高規格道、高速道路トンネル等の関連工事のほか、特に目立った物件はなかった。

【島根】61 千³m [前年同月比 80.7% (官公需 79.9%、民需 83.2%)] 松江第五大橋道路、松江

刑務所、宍道幼保園、尾道松江道路、益田道路（遠田～久城）、介護施設等の関連工事のほか、特に目立った物件はなかった。

【岩手】73 千㎡ [前年同月比 79.5% (官公需 70.8%、民需 96.4%)] 港湾、道路等の関連工事のほか、特に目立った物件はなかった。

【鹿児島】102 千㎡ [前年同月比 78.6% (官公需 84.4%、民需 72.3%)] 特に目立った物件はなかった。

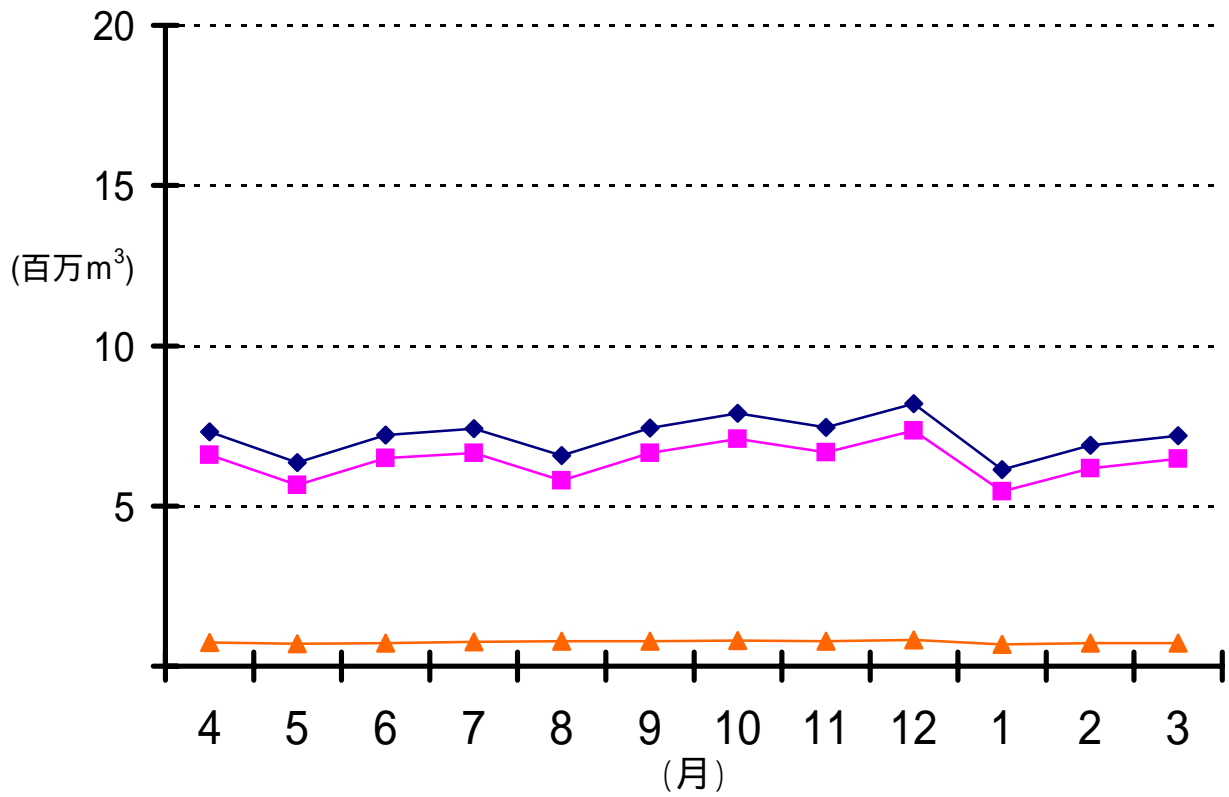
3. 今後の需要動向についての見通し

各都道府県の現状から、今後2～3ヶ月先の需要動向についての各工業組合の見通し（前年実績との比較）は次のとおりである。

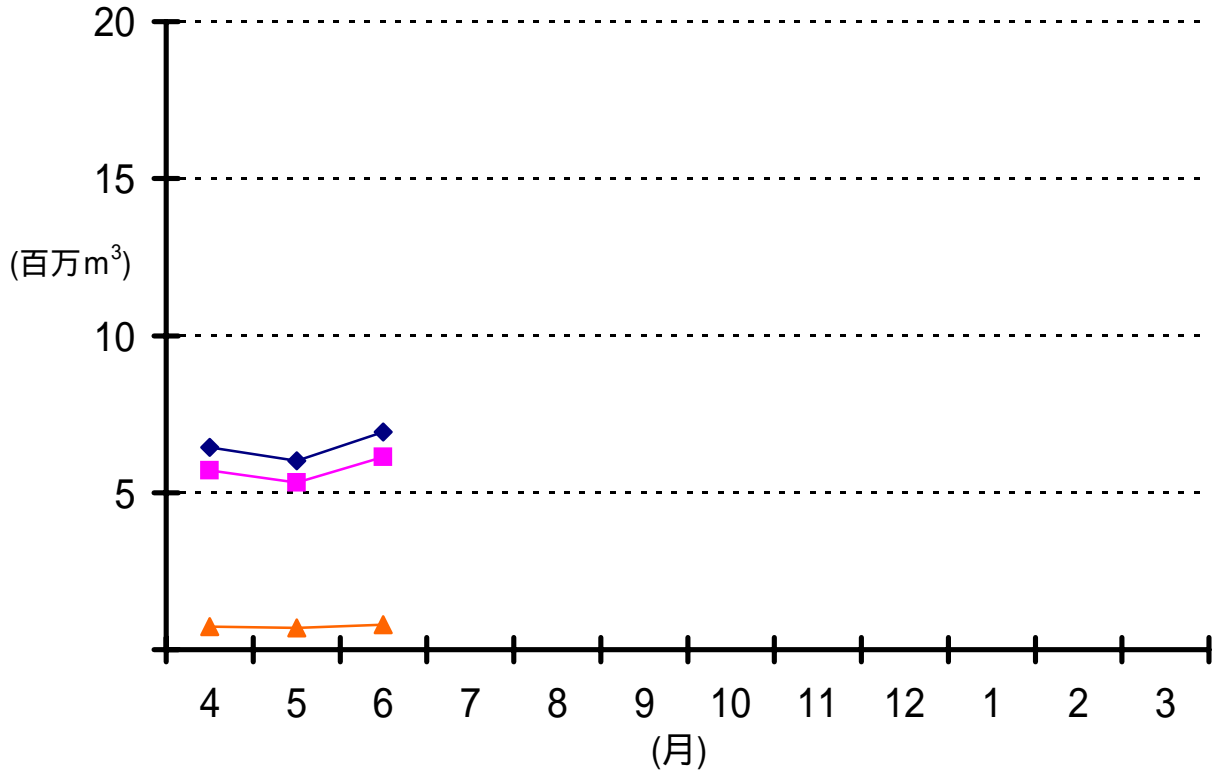
	件数	都道府県	前月 件数
増 加	0		0
やや増加	2	山梨、京都	1
前年並み	4	山形、富山、和歌山、沖縄	3
やや減少	12	岩手、福島、茨城、石川、奈良、大阪、兵庫、山口、鳥取、愛媛、長崎、大分	14
減 少	29	北海道、青森、秋田、宮城、埼玉、千葉、東京、神奈川、栃木、群馬、長野、新潟、福井、静岡、岐阜、愛知、三重、滋賀、岡山、広島、島根、徳島、香川、高知、福岡、佐賀、熊本、宮崎、鹿児島	29

全国出荷実績の推移

平成21年度4～3月



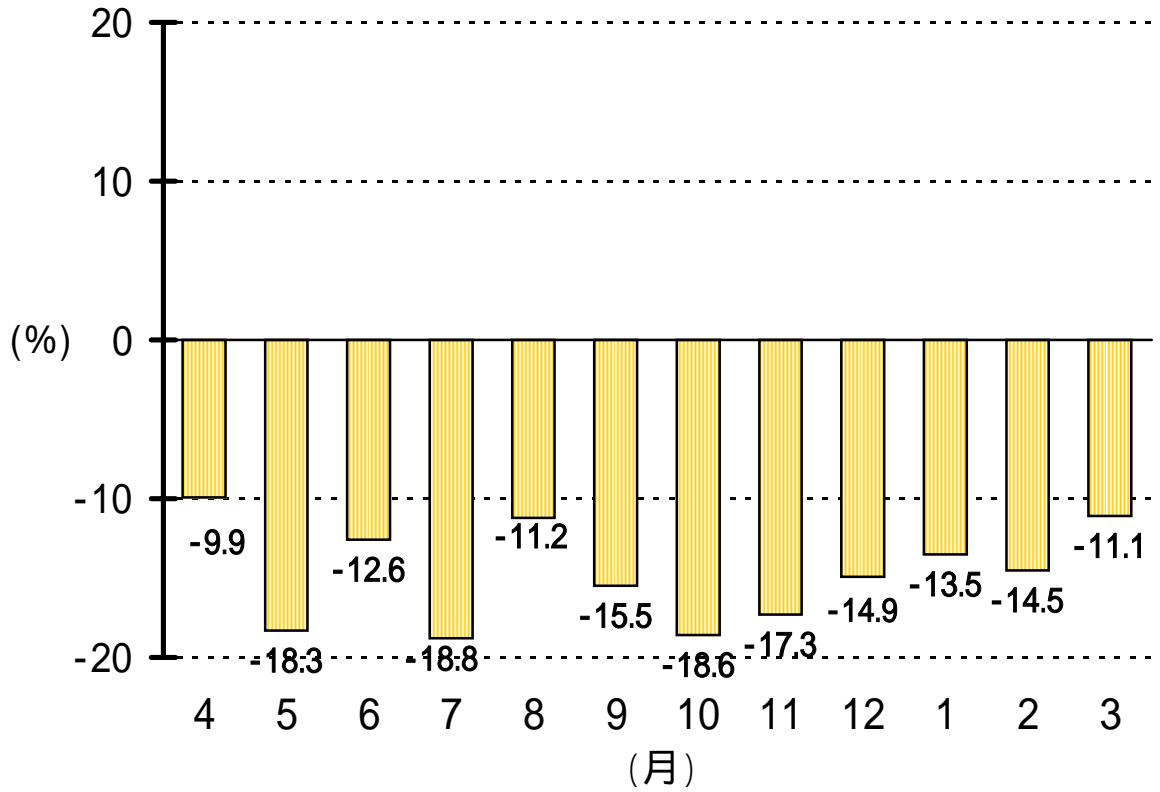
平成22年度4～3月



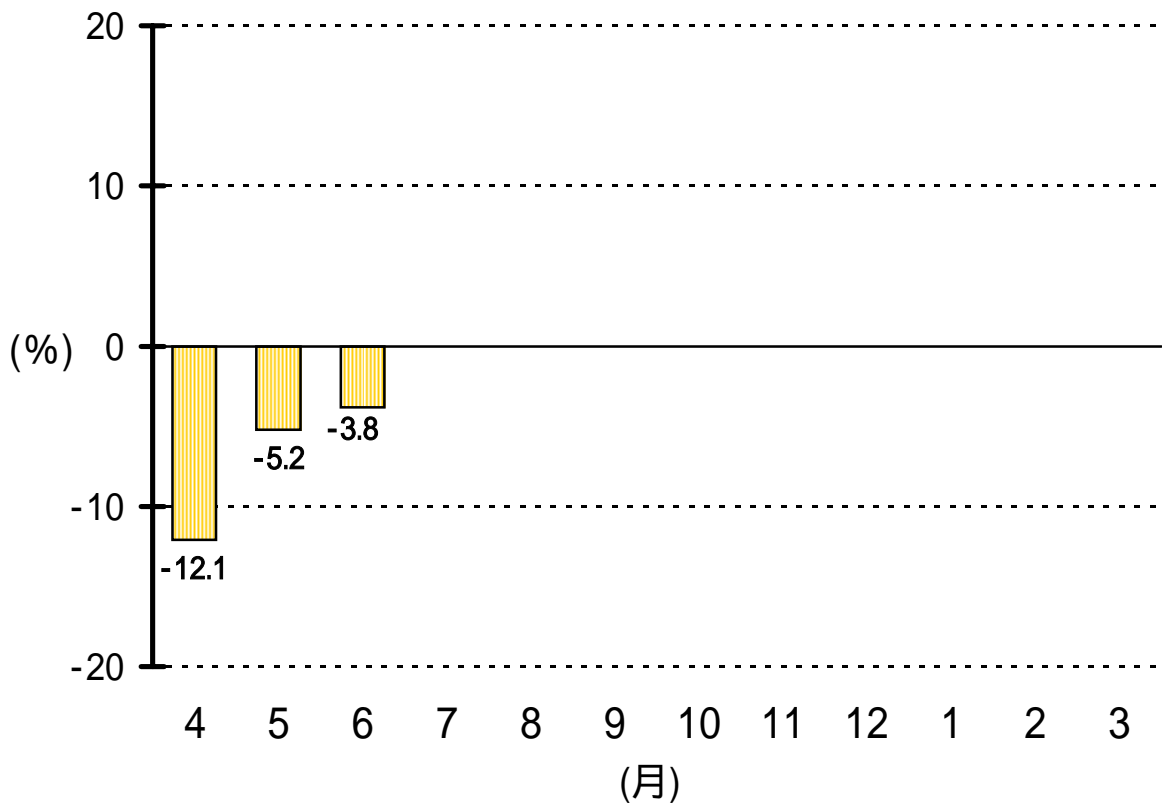
◆ 総出荷数量 ■ 組合員 ▲ 非組合員

全国出荷実績の対前年比の推移

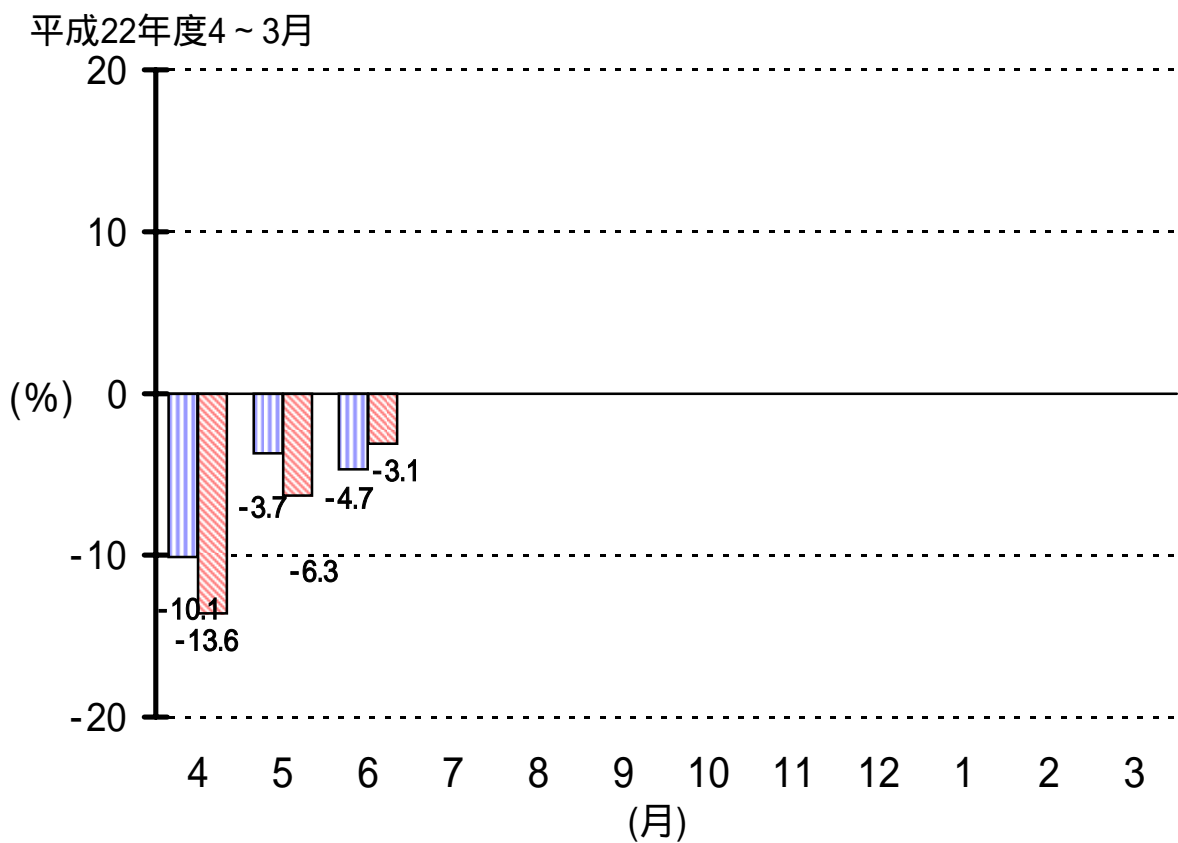
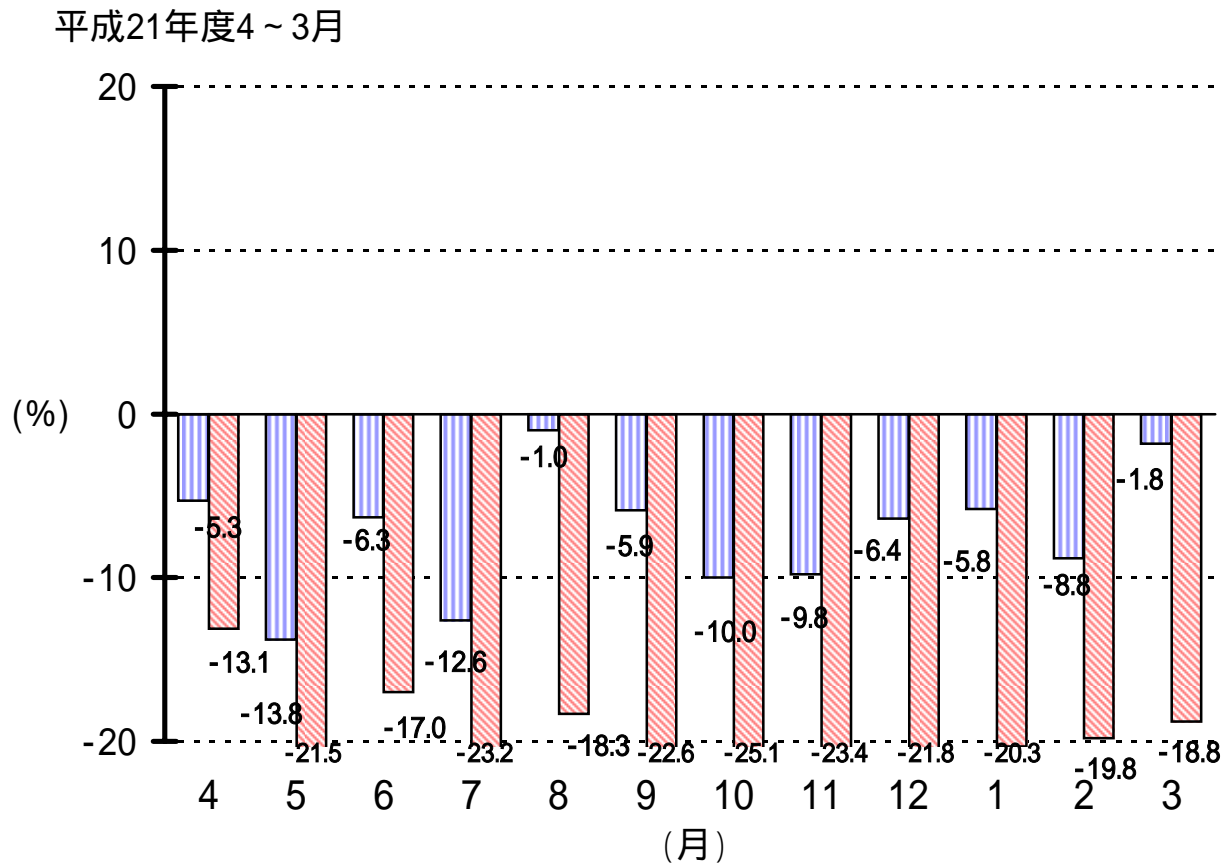
平成21年度4～3月



平成22年度4～3月



官公需 民需別 対前年比の推移



官公需 民需

地区本部別出荷実績と対前年比

【全国総出荷数量】

平成19年度4～6月 27,958千m³ (対前年比 97.5%)

平成20年度4～6月 24,135千m³ (対前年比 86.3%)

平成21年度4～6月 20,874千m³ (対前年比 86.5%)

平成22年度4～6月 19,388千m³ (対前年比 92.9%)

